

## 第6学年「音楽」学習指導案

授業者 下田 愛佳里

2月22日（金） 4階アッセンブリ 9:00～9:40

### 1 題材名 音の重なりを感じよう

### 2 題材について

6年生の彼らは、日々迫り来る様々なものからのプレッシャーなどから、非常にテンションの高くなる子どもや、音楽の時間に対して自分のエネルギーを消費しないように行動している子どもも現実的に見られる。そんな中、4年生から継続的に活動しているミュージックマップの時間だけは生き生きと友だちと活動することを本当に楽しんでいるようにみえる。音楽の授業で、教えるべき要素はたくさんあるが、まずは子どもたちが自分たちの音楽にどっぷりと浸かり、友だちと奏でる音楽を楽しむ時間を大切にしていきたい。ミュージックマップの活動も3年目になった子どもたちは、今までは楽譜通りにやりたい楽器で挑戦していたが、今までの経験を生かし、様々な工夫が見られる。たとえば同じ曲を、トーンチャイム、マリмба、ピアノの連弾で演奏し、どの楽器が一番曲にじっくりくるかみんなに聞いてもらう取組や、今までやった曲をつなげてメドレーにし、自分たちオリジナルの作品をつくるなどである。

リコーダー演奏では、ソプラノリコーダー、アルトリコーダーを用いた2部のカノンの演奏に挑戦している。また授業中だけではなく、学級で朝の時間をつかって音楽の授業がない日も各クラスで練習を積み重ねている。一回2、3分であるが、毎日繰り返すことで、週2時間では定着が難しい子どもにとっても有意義であり、積み重ねの重要性を感じる。授業では、自分の息づかいを意識すると共に、友だちの演奏にも耳を傾け、一曲として音がなめらかに聞こえるように意識している。

### 3 学習指導計画（3学期：11時間目／全15時間）

常時活動	
自分（たち）の課題に向き合う・ともに歌う／演奏する／聴きあう 《4年生から継続的に行っている》	
3学期提示した楽曲	※既習曲も適宜扱う
〈ソプラノリコーダー・アルトリコーダー〉 カノン 〈ソプラノリコーダー〉 大切なもの 〈歌唱曲〉 大切なもの、旅立ちの日に	

### 4 本時の学習について

#### （1）本時のねらい

友だちと関わりながら自分の課題と向き合うこと。音の重なりを楽しむこと。

#### （2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
○個人やグループで自分の課題と向き合って活動を進める 教えあう 話しあう 試してみる	ゆずりあって楽器を使う 場所を工夫して見つける
○全体で合唱やリコーダー演奏をする 音の重なりを聴く 友だちの声、音を聴く	友だちと相談する どっぷり浸かる
○聴きあう 変化や工夫に気づく もっとこうしたら？	感じたことを主張できる場づくり 見あい、聴き合う